

■プラン策定に向けた実態調査等について

- プランの内容を検討する際の基礎資料となる各種調査について、下記のとおり実施する。
- 調査結果は、市内の現況を示すものとしてプランに掲載するほか、プランに基づく市の施策・事業の参考とする。

1) 日本人住民向けアンケート調査

調査対象：外国籍を有しない八戸市民（人数未定）

調査方法：Google フォーム（Web 回答）

調査内容：多文化共生に関する認知や関心、外国人住民との接触経験や印象、共生への期待や不安、必要な支援や施策への意見 など

2) 外国人住民向けアンケート調査

調査対象：外国籍を有する八戸市民（人数未定）

調査方法：Google フォーム（Web 回答）

調査内容：八戸市に暮らす外国人住民の生活実態や困りごと、日本語教育・多言語対応・交流の希望、市への要望 など

3) 事業者向けアンケート調査

調査対象：市内の外国人を雇用している事業所

（八戸商工会議所の会員、庁内担当部署で把握している事業所を想定、総数未定）

調査方法：Google フォーム（Web 回答）

調査内容：外国人の雇用状況、雇用の効果・課題、日本語教育の状況、今後の展望、市施策・事業へのニーズ など

4) 日本人住民と外国人住民とのワークショップ

目 的：日本人住民の多文化共生に対する意識醸成を図るとともに、外国人住民が当市で生活する中で感じている課題を整理し、多文化共生推進プランの内容に反映する。

日 程：令和7年9月中旬～9月下旬、3時間程度

場 所：未定（美術館のスタジオなど）

対 象：市内大学の日本人学生、及び外国人留学生

人 数：あわせて 20 名程度

内 容：以下のとおり

①オリエンテーション（多文化共生推進プラン、ワークショップの狙いの説明）

②多文化共生推進についてのショート講義

③ワークショップ「理想の多文化共生タウンを創ろう！ ～多文化共生推進 “ミニ” プランづくり～」